子ども一人一人のウェルビーイングの実現を目指す後志教育の推進

1 子ども一人一人の可能性を引き出す教育の推進

子どもを主語にした深い学びのある授業の推進

子ども一人一人が「自立した学習者」となれるよう、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るとともに、教科等横断的な教育活動を展開し、後志管内の全ての子どもが「この学校で学ぶことができよかった」と実感できる取組の推進

< 推進の視点 >

- ・ 学びを選択・自己調整できる指導計画や学習環境の充実
- ・ デジタル学習基盤の効果的な活用
- ・ **自己決定の場の提供**

< 指標 >

- 学校に行くのは楽しい
- PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用したか
- 授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたか

2 学びの機会を保障し質を高める環境の確立

子どもが安心して学ぶことができる環境の確立

子ども一人一人が安心して学ぶことができる魅力ある学校づくりのため、よりよい人間関係の構築に関する取組と誰一人取り残さない多様な学びの機会の充実を図り、後志管内の全ての子どもが「自分が活躍できる場所がある」と実感できる取組の推進

< 推進の視点 >

- ・ 発達支持的生徒指導の推進
- ・ 多様な教育ニーズへの対応の充実
- ・ **生徒指導の4つの視点を踏まえた教育活動の推進**

< 指標 >

- 自分には、よいところがある
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれている
- いじめは、どんな理由があってもいけない

教員の資質能力の向上

子ども一人一人に対して効果的な教育活動を展開するため、教員一人一人が、ワークライフバランスの視点をもちながら、自らの授業を磨き、人間性や創造性を高める取組の推進

< 推進の視点 >

- ・ 教員の「働きやすさ」と「働きがい」の向上
- ・ 授業観の転換
- ・ **仮説検証型から脱却した校内研修の充実**

< 指標 >

- 学校の仕事が楽しい
- 職場の居心地がよい
- 子どもの成長を実感している

3 地域と歩む持続可能な教育の実現

学校・家庭・地域の連携体制の充実

子ども一人一人が地域へ愛着・誇りをもつことができるよう、学校、家庭、地域全体が一層連携し、子どもたちと様々な場面で関わることで子どもたちが地域について主体的に考え、後志管内の全ての子どもが「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思える取組の推進

< 推進の視点 >

- ・ キャリア教育の充実
- ・ 学校間連携の推進
- ・ **子どもの成長を支えるパートナーとの連携強化**

< 指標 >

- 地域や社会をよくするために何かしてみたい
- 将来の夢や目標をもっている